

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月25日更新

事務事業名	延長・休日保育助成事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 三苫 幸喜
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	子育て支援課	担当者名 田島 明美
	施策の柱	57	子育てと仕事の両立支援		所属班	子ども保育班	(内線) 2316
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 3	事業連番 10568	根拠法令 合志市特別保育事業費等補助金交付要綱次世代育成支援対策交付金	成果優先度評価結果 : ② コスト削減優先度評価結果 : ⑧
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市内の認可保育施設に通う児童の保護者が、安心して仕事ができるように通常の保育時間をさらに延長して保育を実施する。 また、休日における保育需要が高まっていることから、これまでのヴィーブル内「ぼっぼ保育室」に加え、平成24年度からは「このみ坂保育園」において休日保育を実施し、保育を必要とする乳幼児を保育することとした。 延長保育、休日保育を実施した認可保育施設に対して補助金を交付する。
【業務の流れ】	①補助金交付申請書(添付:補助金所要額調書・事業計画書・事業収支予算書)の受付、審査 ②交付決定通知 ③事業実施 ④実績報告書(添付:事業報告書・補助金精算額調書・収支精算書) ⑤補助金交付確定通知 ⑥補助金支払
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	現在、認可保育施設では午後6時～午後7時までの1時間の延長保育が行われているが、保護者の勤務形態の多様化により、更なる延長時間や休日保育を求める声がある。そのため平成24年度開設のこのみ坂保育園において、2時間延長保育および休日保育を実施した。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 全ての認可保育施設で実施する予定。そのうち1園は2時間延長保育を実施予定。また1園で休日保育を実施予定。
①手段(主な活動)27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO) 11時間の通常保育を越えて、さらに1時間の延長保育を市内の認可保育施設21園全てで実施した。このみ坂保育園においては、2時間延長を行っている。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア:延長・休日保育実施保育所 イ:	(単位) 園 予算の主な増減の理由 新規に認可される施設の増による補助金の増額
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 延長保育・休日保育が必要な保護者	(単位) 園 ア:延長・休日保育実施保育所 イ:延長・休日保育延べ利用者数 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・仕事と子育ての両立ができる ・安心して仕事ができる	(単位) 園 ア:延長・休日保育実施保育所 イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 児童が日頃通う認可保育施設で実施されることが望ましいため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
①活動指標	ア 園		18	20	21	21	23	23	23	23
	イ 人		34,953	39,513	42,000	38,020	42,000	42,000	42,000	42,000
②対象指標	ア 園		18	20	21	21	23	23	23	23
	イ 人		34,953	39,513	42,000	38,020	42,000	42,000	42,000	42,000
③成果指標	ア 園		18	20	21	21	23	23	23	23
	イ 人		34,953	39,513	42,000	38,020	42,000	42,000	42,000	42,000
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円			4,916	6,680	9,742		
		都道府県支出金	千円	46,355	52,503	4,916	3,097	9,742	50,994	50,994
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	27,168	26,082	4,918	3,257	9,745	25,498	25,498	25,498
	(A)事業費計	千円	73,523	78,585	14,750	13,034	29,229	76,492	76,492	76,492
人件費	(A)のうち指定経費	千円	1,583	1,102	0	2,342	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	0	2	3	3	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	0	15	90	120	90	90	90	90	
(B)人件費計	千円	0	59	358	445	358	358	358	358	
トータルコスト(A)+(B)	千円	73,523	78,644	15,108	13,479	29,587	76,850	76,850	76,850	

事務事業名	延長・休日保育助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 市内認可保育施設の21園全てで受入を実施した。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 認可保育施設では、朝夕に常時2人以上保育士等を配置し、延長保育を希望する児童を預かる体制ができている。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現在、1時間の延長保育を実施しているが、少数意見でさらに延長を求める保護者がいることも事実である。2時間程度の延長に対応できる保育園が市内に2箇所程度あれば、なお安心して仕事ができる状況になる。平成24年度からは、1園にて2時間延長を実施中であり、状況を見た上で平成28年度以降の対応が求められる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】 (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 現在、延長保育時間を超えてさらに延長保育が必要な場合は、「ファミリーサポートセンター事業」を利用していただいている。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助額を下げるために、保護者負担を増やすことも考えられるが、現在月に3,000円程度の利用料の負担を保護者をお願いしており、これ以上の負担増は妥当ではないと考える。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業の実施には、最低2人、また児童福祉最低基準に必要な保育士数が定められているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 利用者からは、負担金として利用料を徴収しており、実施保育施設には国の補助基準額を超えない範囲で補助を行っており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 普段通所している認可保育施設で実施できるところに、保護者が安心して仕事ができる理由に結びついており、事業の実施経費がある以上、行政が関与する必要はあり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

保護者の就労形態の多様化、長時間の通勤等に伴う保育時間の延長に対する需要は年々高まっており、これに対応するため開始された当事業は適切に運営されている。
この事業があるため、保護者は安心して仕事ができると答えている。ただ、子育て世代が長時間労働を強いられている状況は各種の調査により解っている。平成27年度から子ども・子育て支援新制度により、短時間保育の制度が設けられているが、預け先の確保より、企業側が子育て世代に配慮し、短時間勤務ができるような取組みも別の視点で必要と思われる。児童福祉、子どもの育ちのためには、両面からの取組みが必要である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						